

放課後の過ごし方に関するアンケート結果について

【アンケートの目的】

放課後における子どもたちの過ごし方や、あしやキッズスクエアの利用状況等について、保護者及び児童の双方から意見を把握することを目的に実施したもの。

■回答属性

■アンケート期間

令和8年2月28日(土)
～3月12日(木)

■実施方法

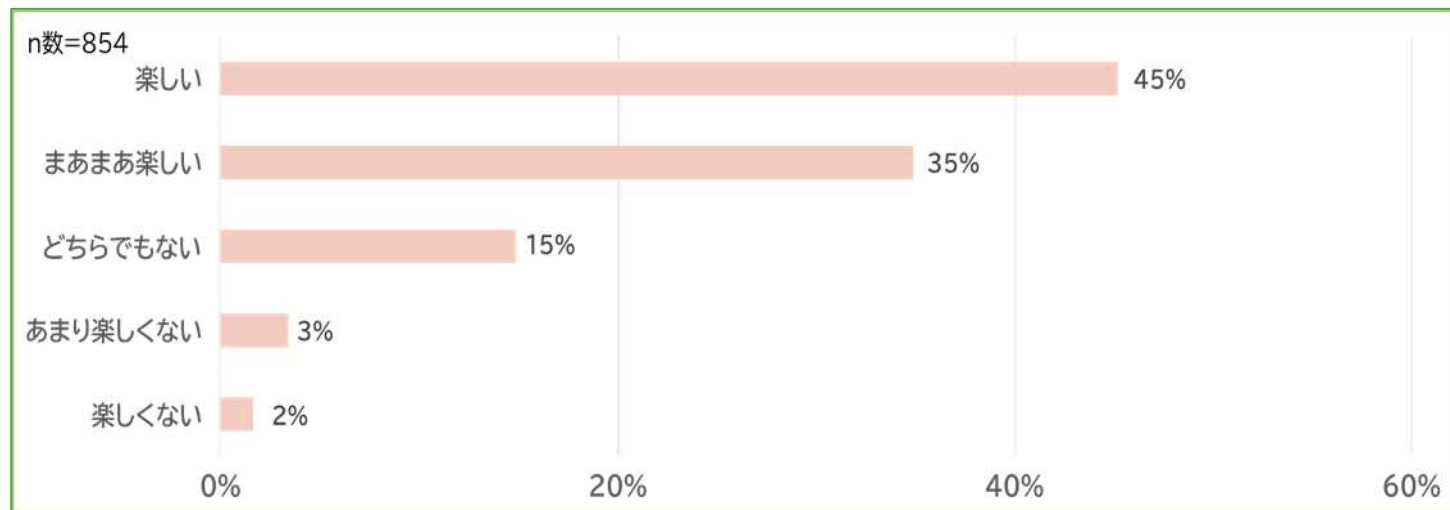
ミマモルメを利用し、
市立小学校保護者に対し
アンケート URL を送付

※アンケート結果の一部を
抜粋しています。

学校名	全校 子ども数	回答数 子ども	回答率 子ども (%)	回答数 保護者	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
精道	657	149	23%	112	23	29	31	17	28	21
宮川	620	129	21%	99	28	26	24	22	12	17
山手	605	113	19%	94	14	28	17	24	16	14
岩園	755	157	21%	124	25	27	30	33	23	19
朝日ヶ丘	297	64	22%	52	14	9	10	7	12	12
潮見	554	94	17%	75	17	19	17	11	14	16
打出浜	435	84	19%	67	15	10	12	14	19	14
浜風	308	63	20%	50	12	14	10	10	9	8
その他	—	1	—	1	0	0	1	0	0	0
総合計	4,231	854	20%	674	148	162	152	138	133	121

◆アンケート集計結果ー放課後全体について(子ども向け)

Q4.放課後の時間は楽しいですか。



放課後の時間について、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童が全体の80%を占めている。

一方で、「どちらでもない」「あまり楽しくない」「楽しくない」が5%存在しており、放課後の過ごし方に対する感じ方には一定の幅があることも読み取れる。

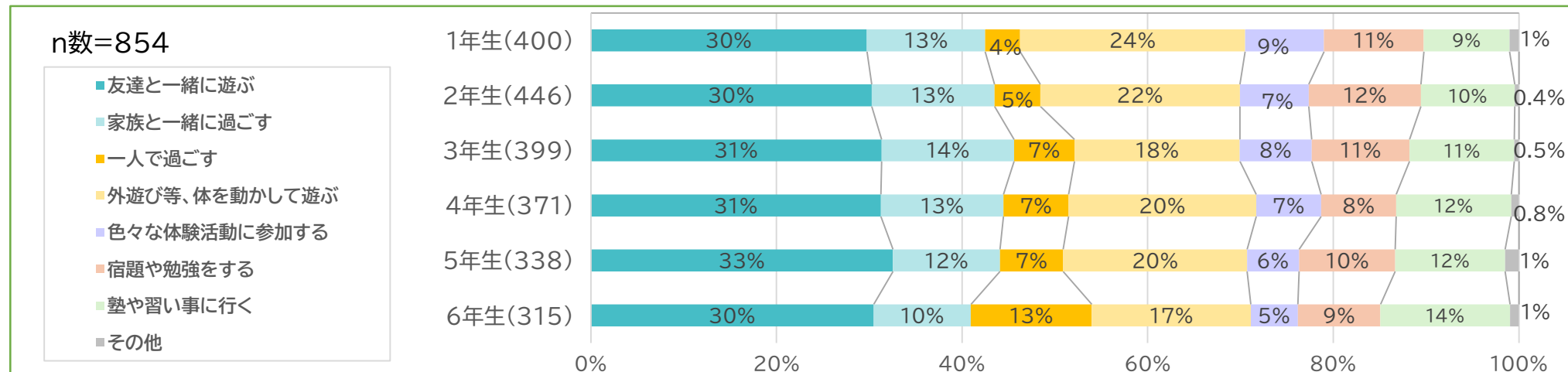
【学年別集計】



学年別に見ると、いずれの学年においても「楽しい」「まあまあ楽しい」が多数を占めている。一方で、学年が上がるにつれて「どちらでもない」や「あまり楽しくない」と回答する割合がやや増加する傾向も見られる。

Q5.放課後にやりたいことは何ですか。(3 つまで)

※体験活動とは、習い事のような活動だけでなく、地域の方や学生との交流・遊びなど、放課後に多様な経験ができる活動全般を指します。



◆Q5 その他

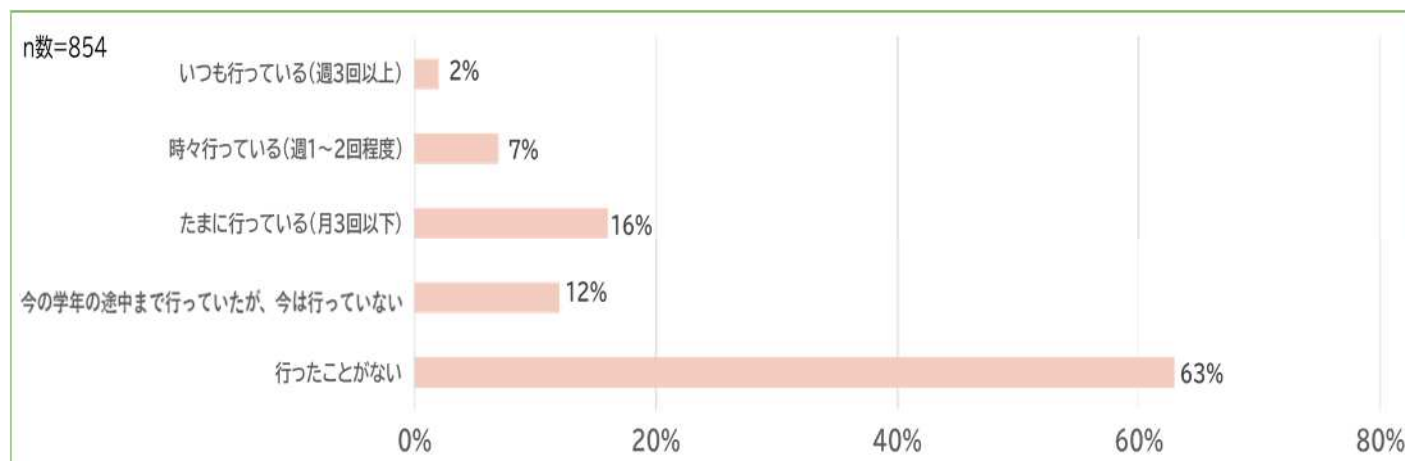
※「その他」欄の自由記述は、内容が類似するものをまとめて表記

- ・家で遊ぶ
- ・ゲームをする(一人で・友達と)
- ・テレビを見る
- ・漫画を読む(ワンピースなど)
- ・絵を描くなど、自分のやりたいことをする
- ・自分の趣味を楽しむ時間として過ごす
- ・家族や友達とお出かけする
- ・放課後児童クラブで過ごす(自由活動・ゲームなど)
- ・なんでもいい

放課後に一番やりたいこととしては、「友達と一緒に遊ぶ」がいずれの学年においても約 30%と最も多く、次いで「外遊び等、体を動かして遊ぶ」が挙げられている。高学年になるにつれて「一人で過ごす」や「塾・習い事へ行く」を選択する割合が高まる傾向が見られる。一方で、低学年は「外遊び等・体を動かして遊ぶ」や「色々な体験活動に参加する」が相対的に高い割合を示している。

◆アンケート集計結果ーキッズスクエアについて(子ども向け)

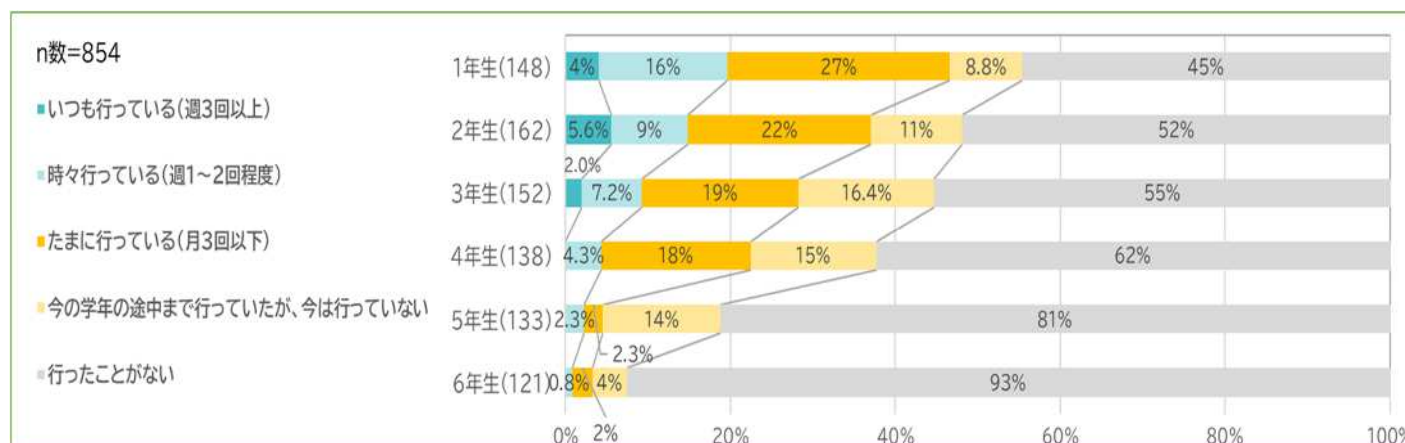
Q6. 今の学年になってから、キッズスクエアに行ったことはありますか。



キッズスクエアに「行ったことがない」と回答した児童が63%と最も多く、全体の過半数を占めている。一方で、何らかの形で利用している児童は全体の約25%であった。

また、「今の学年の途中まで行っていたが、今は行っていない」と回答した児童も12%見られ、一度は参加したものの継続的な利用には至っていない児童が一定数存在していることが確認できる。

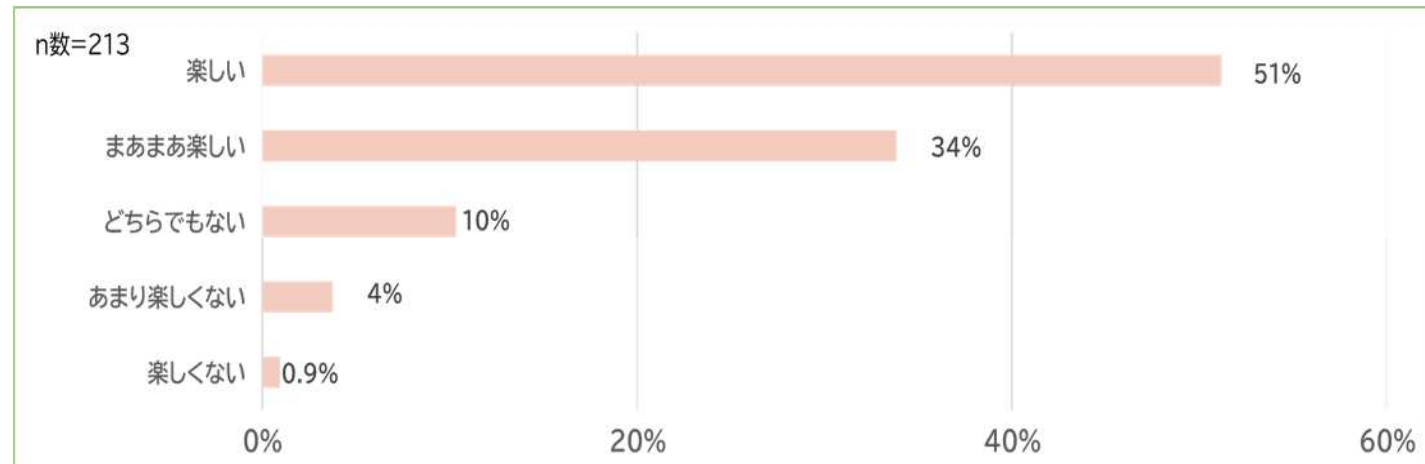
【学年別集計】



学年別に見ると、低学年では参加の機会が比較的多いものの、中学年以降は利用が減少し、高学年では未利用が主流となる傾向が明確である。

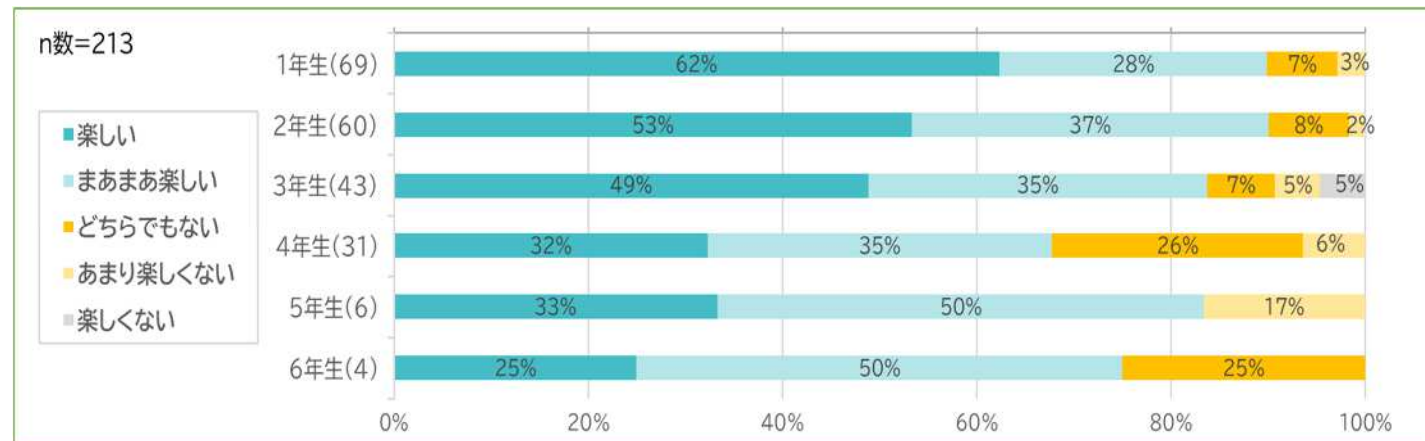
Q7-1(Q6 で 1.2.3 を回答)キッズスクエアは楽しいですか。

(いつも行っている・時々行っている・たまに行っていると回答された方)



キッズスクエアへ「いつも行っている」「時々行っている」「たまに行っている」と回答した児童(n=213)を対象に、楽しさについて尋ねたところ、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童が85%を占めており、実際に利用している子どもたちからの満足度は高いことが示されている。

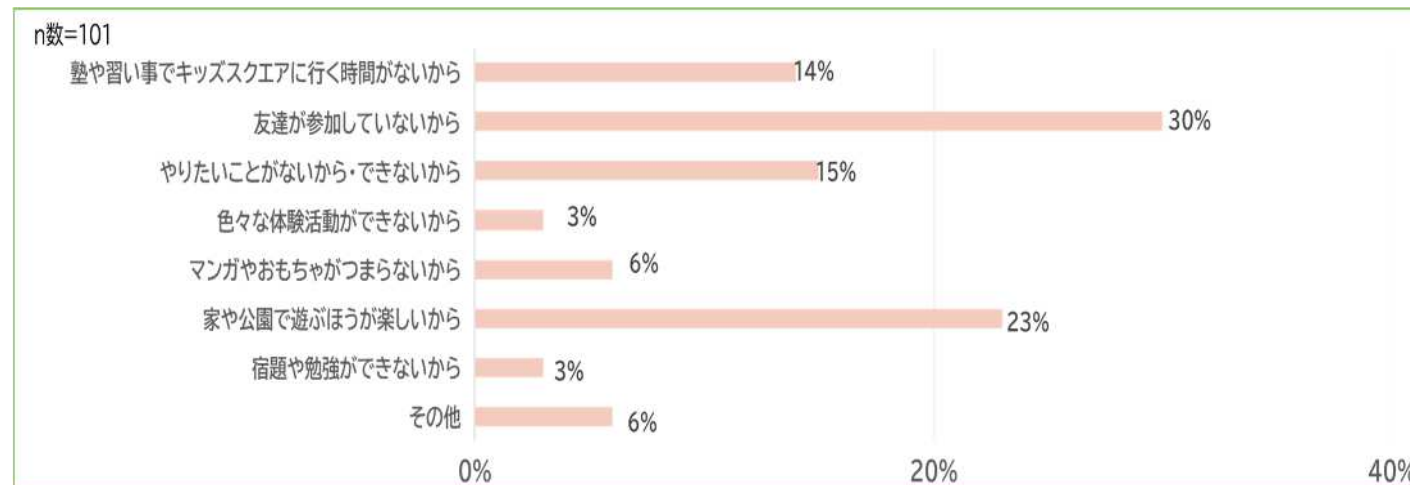
【学年別集計】



学年別に見ると、低学年では特に肯定的な評価が高く、中学年以降では「どちらでもない」「あまり楽しくない」と感じる児童が一定数見られるなど、学年進行に伴い感じ方に幅が出ている様子が見える。

Q7-2(Q6 で 4 を回答)キッズスクエアに行かなくなった理由を教えてください。(主なもの 3 つまで)

(今の学年の途中まで行っていたが、今は行っていないと回答された方)



行かなくなった理由としては、「友達が参加していない」「家や公園で遊ぶほうが楽しい」が多く選ばれていた。また、「やりたいことがない・できない」「塾や習い事で行く時間がない」なども一定数見られる。

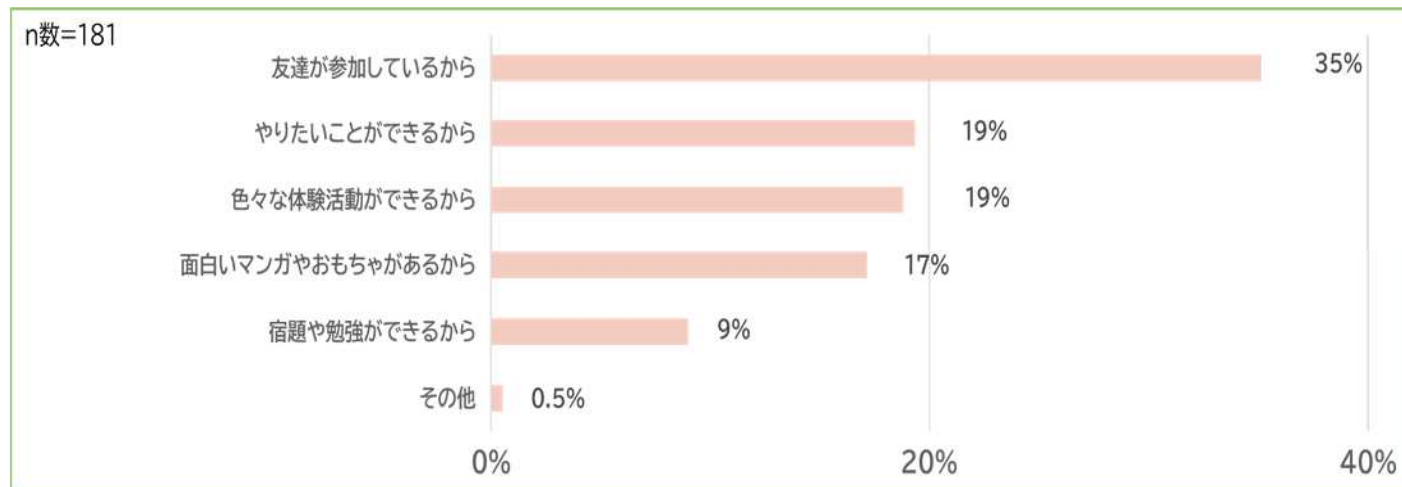
【学年別集計】



学年別に見ると、「友達が参加していない」「家や公園で遊ぶほうが楽しい」といった理由は、学年を越えて共通して選ばれている。一方で、6年生になると「塾や習い事で行く時間がない」を選択する割合が増加しており、放課後の過ごし方や時間の使い方が変化している様子が読み取れる。

Q8-1(Q7-1 で 1.2 を回答)キッズスクエアのどんなところが楽しいですか。(主なもの 3 つまで)

(楽しい、まあまあ楽しいを回答された方)



楽しさの理由としては「友達が参加しているから」が最も多い。また、「やりたいことができる」「色々な体験活動ができる」「面白いマンガやおもちゃがある」といった回答も一定数見られる。

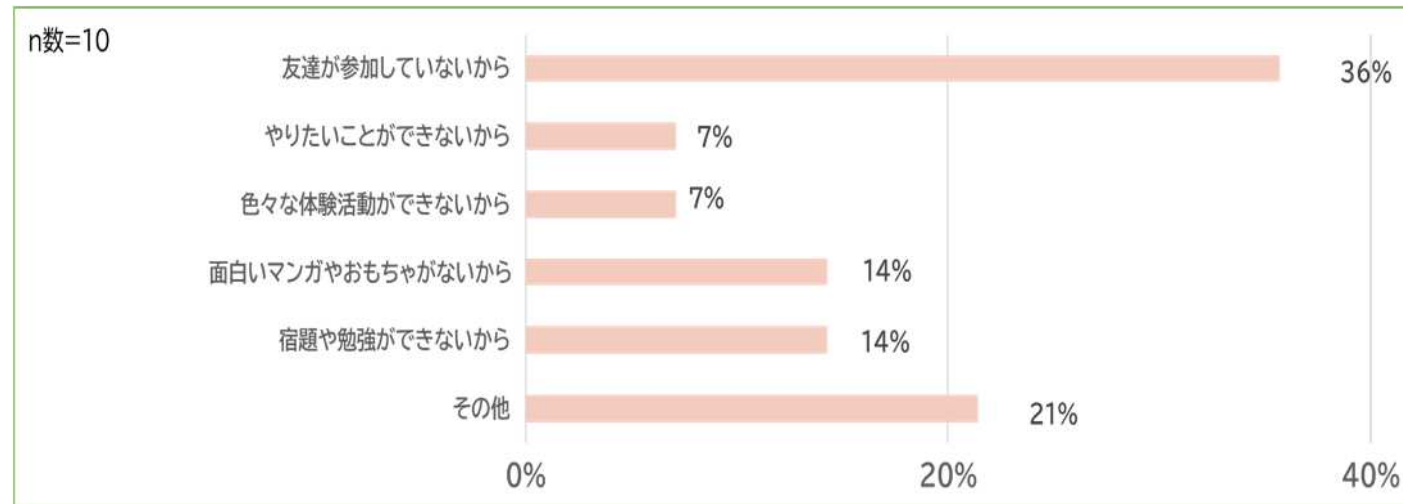
【学年別集計】



学年別に見ると、低学年から中学年にかけては「友達が参加していること」を理由とする割合が高い傾向が見られる。一方で、高学年では回答数が少ない点に留意が必要ではあるものの、体験活動やおもちゃなど、楽しさの理由が分散する様子が見られる。

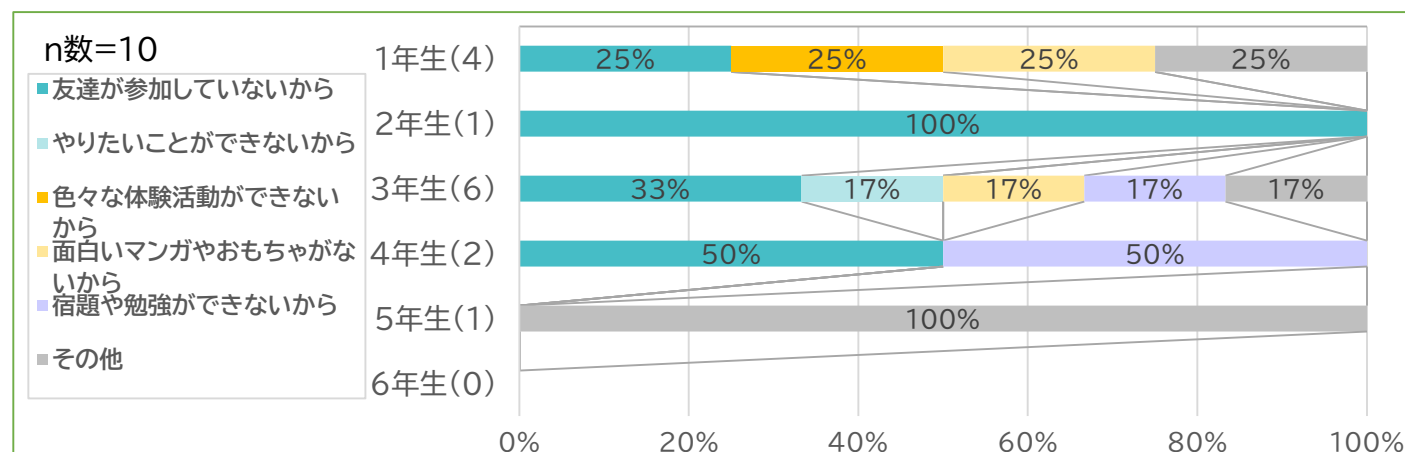
Q8-2(Q7-1 で 4.5 を回答)どのような点が楽しくないと感じていますか。(主なもの 3 つまで)

(あまり楽しくない、楽しくないを回答された方)



「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童は少数であるが、理由としては「友達が参加していない」が最も多かった。また、「面白いマンガやおもちゃがない」「宿題や勉強ができない」など、過ごし方や環境に関する理由も挙げられている。

【学年別集計】



学年別に見ると、回答数が少ないため傾向の断定は難しいものの、「友達が参加していないから」は複数学年で選択されている。あわせて、学年によって「面白いマンガやおもちゃがない」「やりたいことができない」などの理由が分散しており、楽しめなさの感じ方が個別적である様子が見られる。

◆アンケート集計結果—放課後の過ごし方について(保護者向け)

Q9.現在のお子様の放課後の過ごし方について教えてください。(主なもの3つまで)



保護者を対象に、子どもの現在の放課後の過ごし方について主なものを3つまで選択してもらったところ、低学年では、放課後児童クラブやキッズスクエアなど、見守りのある場を利用する割合が比較的高い一方で、学年が上がると、「学校以外で友達と過ごす」「学校以外で一人で過ごしている」など自立して過ごす割合が増加している。

Q10.現在のお子様の放課後の過ごし方について、保護者としての満足度を教えてください。



保護者の満足度について数値から見ると、全体として「満足」「やや満足」が過半数を占め、低学年ほど肯定的な評価が高い傾向が確認できる。一方で、学年が上がるにつれて肯定的評価は緩やかに低下し、「どちらでもない」と回答する割合が増加している。「不満」と回答する割合は全体として少数にとどまっているものの、高学年では評価が肯定から中立・部分的な不満へと分散している。

Q12-1(Q6 でキッズスクエアに行っている「1.2.3」と回答)

現在、キッズスクエアを利用している理由を教えてください。(主なもの 3 つまで)

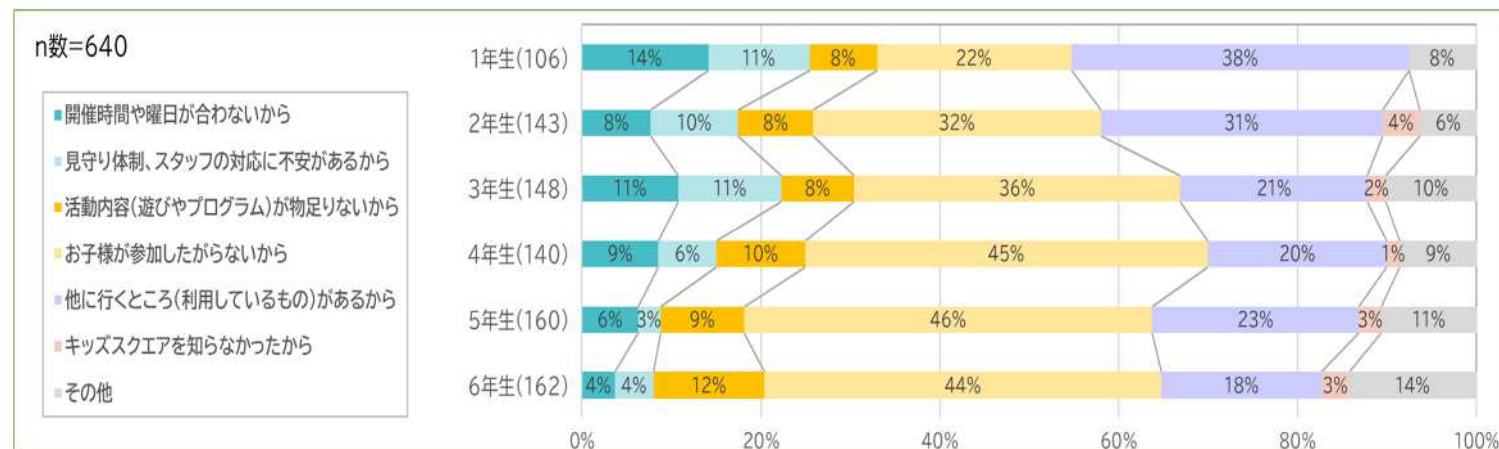
(いつも行っている・時々行っている・たまに行っていると回答された方)



利用している理由として、数値回答では「放課後も小学校の敷地内で安全に過ごせること」や「友達と一緒に過ごせるなど、子ども本人が希望していること」が全学年で選ばれており、安全性と子どもの意向が利用の基盤となっていることが確認できる。

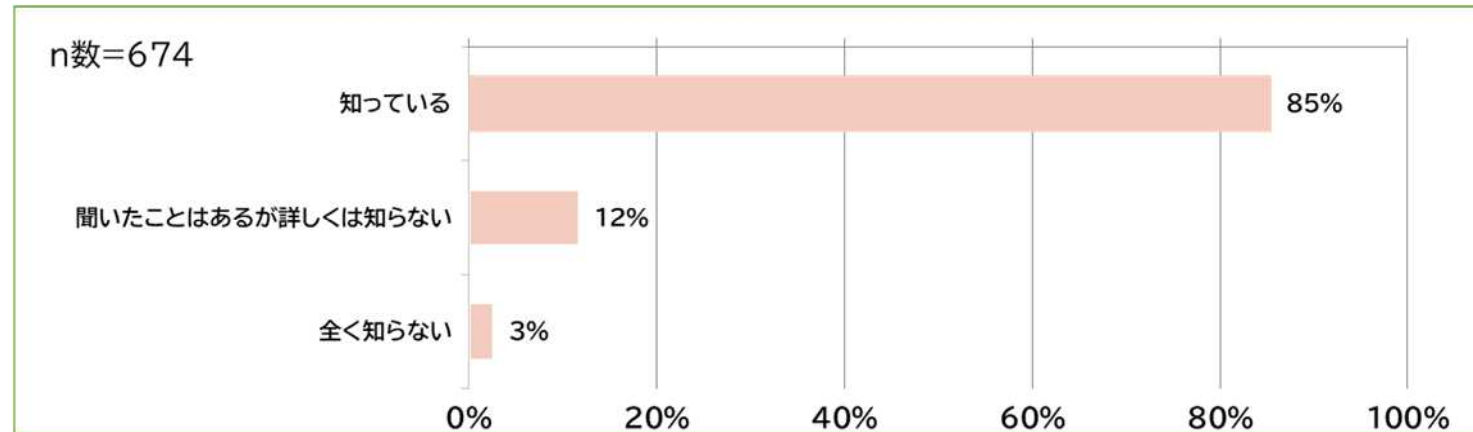
Q12-2(Q6 でキッズにいない「4.5」と回答)

現在、キッズスクエアを利用していない理由を教えてください。(主なもの 3 つまで)



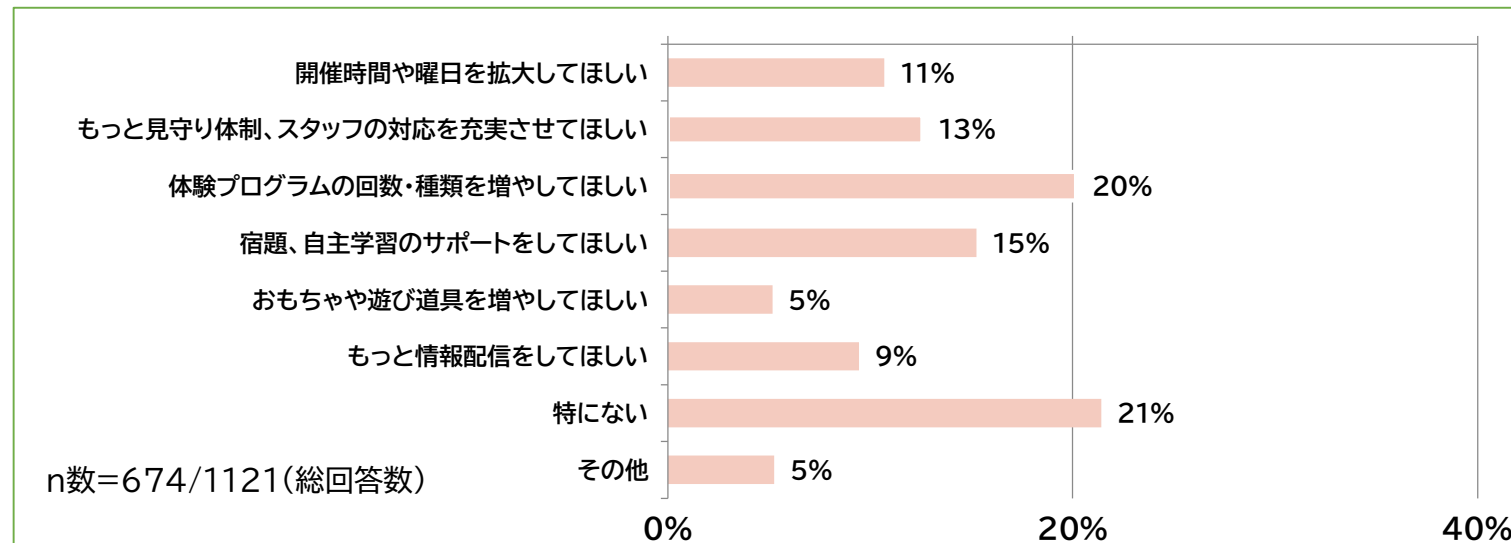
利用していない理由を見ると、1年生では「他に行くところがあるから」の割合が最も多く、他の学年でも一定数存在している。また、「お子様が参加したがるから」が多く、利用・不利用の判断において、子ども本人の意思が大きな要因となっている。

Q13.あしやキッズスクエアを知っていますか。



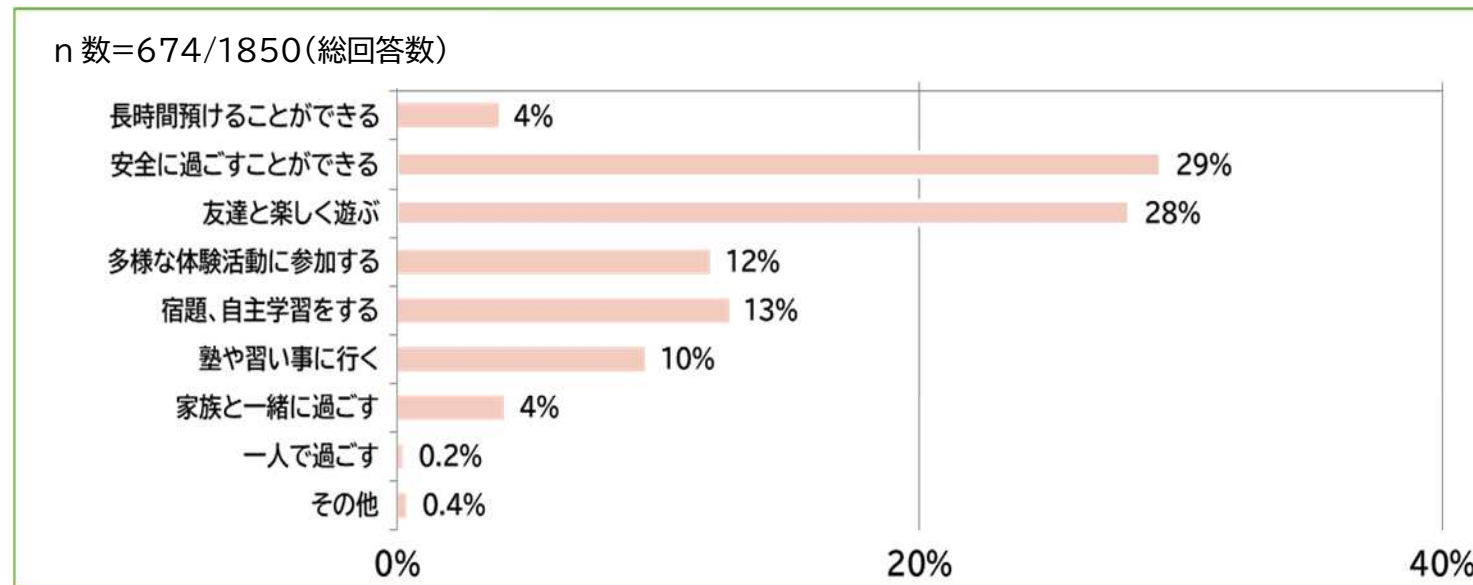
キッズスクエアの認知状況については、「知っている」と回答した保護者が85%を占めており、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」を含めると、ほぼ全ての保護者に制度の存在が認知されている。

Q14. 今後キッズスクエアに求めることを教えてください。(主なもの3つまで)



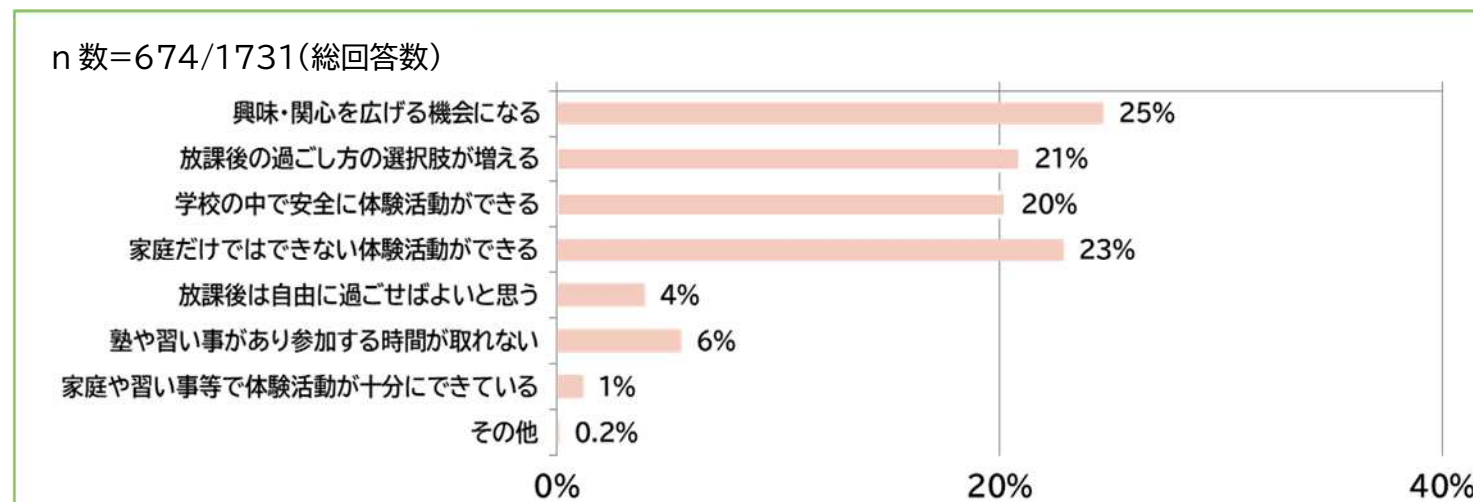
今後キッズスクエアに求めることについては、「特にない」が21%と最も多い。一方で、「体験プログラムの回数・種類を増やしてほしい」「宿題、自主学習のサポートをしてほしい」「見守り体制やスタッフの対応を充実させてほしい」といった、活動内容や過ごし方の質に関する要望も多く挙げられている。

Q15 お子様の放課後の過ごし方について、重視されることは何ですか。(主なもの 3 つまで)



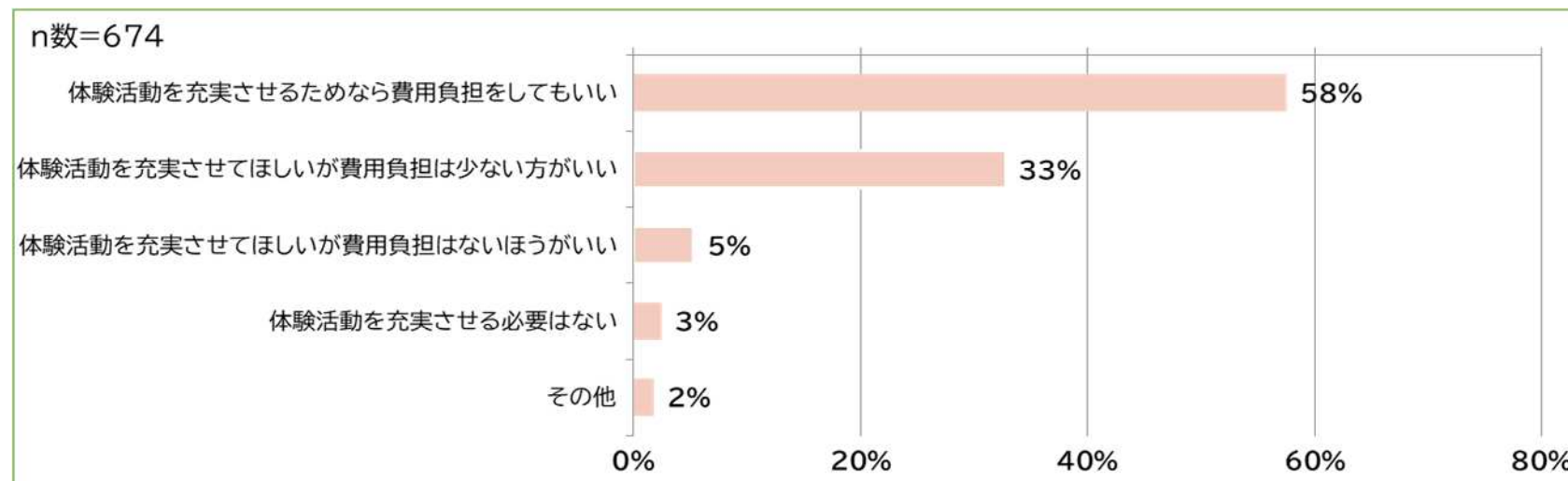
放課後の過ごし方で重視されることについての回答を見ると、「安全に過ごせること」や「友達と楽しく遊ぶこと」が多く選ばれている。

Q16 放課後に学校の中で様々な体験活動に参加することについて、お考えを教えてください。(主なもの 3 つまで)



放課後に学校の中で様々な体験活動に参加することについての回答を見ると、「興味・関心を広げる機会になる」「放課後の過ごし方の選択肢が増える」「学校の中で安全に体験活動ができる」「家庭だけではできない体験活動ができる」といった点を評価する声が多く、体験活動に一定の意義を感じている保護者が多数を占めている。

Q17. 体験活動を充実させるために参加者に費用を負担していただくことについてどう思われますか。



参加者の費用負担については、「体験活動を充実させるためなら費用負担をしてもいい」と回答した保護者が 58%と最も多く、「費用負担は少ない方がいい」を含めると、体験活動の充実自体には多くの保護者が前向きであることが確認できる。